

令和元年度 自己評価報告書

<学校の教育目標>
社会から必要とされ、信頼される人間を育てる。そのために次の3つを実践する。 1. 本物の「あいさつ」をする。 2. 心をこめて「そうじ」をする。 3. 「素直」な心を持つ。
<今年度の重要課題>
「社会人力（社会人として通用する人間力）を育てる」 →（学生が）チームで働く力をさらに強化する ・新しい授業 「言葉力」 開始 ・ココロの授業特別講座 年3回開催 ・授業研修（昨年度に引き続き、授業力アップのため）

<評価項目の達成及び取組状況> 評価基準は4（適切）3（ほぼ適切）2（やや不適切）1（不適切）

【1 教育理念・目的・人材育成像】	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4.0
学校における職業教育の特色は何か	4.0
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4.0
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	4.0
各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4.0
課 題：学生に対して、入学前より教育理念を伝えているが、保護者への浸透に比べてまだ浸透しきっていない学生が見受けられる。	
改善対策：最初に伝えるだけでなく、継続して教育理念を伝え、振り返る機会を設ける。	
特記事項：	
【2 学校運営】	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.3
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.6
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.3
人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.3
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.3
課 題： 地域に向けて、当校がどんな目的を持ってどのような教育をしているのかを、さらに打ち出す必要がある。	
改善対策：年度末に行われる卒研グランプリ（卒業研究発表会）だけでなく、通年で教育内容を発信していくための取り組みを考える。	
特記事項：	
【3 教育活動】	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習 時間の確保は明確にされているか	3.4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施 されているか	2.7
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行わ れているか	2.3
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的 に位置づけられているか	2.1
授業評価の実施・評価体制はあるか	2.7
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.0
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4.0
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメ ントが行われているか	2.6
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の ための取組が行われているか	3.1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4.0
課 題： 外部関係者からの評価について、インターン・病院実習・資格を取る際の講師依頼などを通じた単発のものが主であり、少ない。	
改善対策：外部関係者から話を聞いたり、連携する機会を増やしその声を学生に伝えることで、職業教育等に反映をしていく。	
特記事項：	
【4 学修成果】	評価
就職率の向上が図られているか	4.0
資格取得率の向上が図られているか	4.0
退学率の低減が図られているか	3.3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.1
課 題： 学生は資格や知識が就職に直結していると考えがちで、人格形成や自己表現を育むことを軽視してしまうことがある。	
改善対策：人格形成・自己表現等に係わる事業や取り組みが、就職やキャリア形成に大切であることを継続して伝えていく。	
特記事項：	

【5 学生支援】	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.1
学生相談に関する体制は整備されているか	3.1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2.7
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.6
課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.1
学生の生活環境への支援は行われているか	2.7
保護者と適切に連携しているか	3.1
卒業生への支援体制はあるか	2.6
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.7
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.0
課 題： 学生支援において、担任個々の経験に頼っているところが大きく、体制として確立されていない面がある。	
改善対策： コースや科を超えた横の連携を取ることで、課題に対して支援体制の拡充を図る。	
特記事項：	
【6 教育環境】	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3.0
防災に対する体制は整備されているか	3.3
課 題： 学生や職員の、普段からの防災意識が十分でない。	
改善対策： 授業の中で、コースごとの特徴を活かしたアイディア・提案を学生に考えてもらう機会を作る工夫等を通して、防災意識を高める。	
特記事項：	
【7 学生の受入れ募集】	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4.0
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか	4.0
学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4.0
学生納付金は妥当なものとなっているか 等	4.0
課 題： オープンキャンパスでの、教育方針の伝え方に、コースごとのばらつきが見受けられた。	
改善対策： ビデオを活用するなどして、全てのコースで同じように教育方針を伝えられるよう、説明の仕方をより良いものにしていく。	
特記事項：	
【8 財 務】	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4.0
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.0
財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
財務情報公開の体制整備はできているか	4.0
課 題： 長期的な視野における備えがない。（校舎の改修や新築・不動産購入等）	
改善対策： 毎年定期的に積み立てていく。	
特記事項：	
【9 法令等の遵守】	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.0
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.6
自己評価結果を公開しているか	3.6
課 題： 自己評価を行った後の、体制への反映方法。	
改善対策： 継続的に自己評価を行い、項目だてや集約方法など修正を加えながら、体制への反映を充実させる。	
特記事項：	
【10 社会貢献・地域貢献】	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.6
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4.0
課 題： 職員がやらせるのではなく、学生が自主的にボランティアに参加する意識を高めたい。	
改善対策： ボランティアに参加した学生が、その体験を伝える機会を設けるなどし、それを見た学生が自ら動く意識を持てるようにする。	
特記事項： 『ココロの授業』講演会を、年に1度サントミューゼで開催（一般にも無料で公開）	